

右ノ和歌多略シ中道段ノト十六人

○九月十日

松平豊後守

先達河内相勅度旨相願ハ付京都此ハ傳レテ
仰付ハ得テ河内造營々莫クハ後琉球人ハ連レ致有テ
有テ為難哉 思召ハ傳レテ四ヶ年上納金ニ為テ

此黒出流溜々ハ中判判産牧種備後守取テ任儀

細川執中守
名代細川奉節

弟又同格二二ヶ年上納金ニ為テハ 但琉球人之条ハ

此白出流縁形々同判同人ハ任儀

一 尚阿控門音信亦相止ハ付 八分仙

此度ハ武士も亦阿ハモカモウ山幕後ノ勅上ノカレ
音物ノ事々々モウハシクハ役々モ身々モ恨々モ
宛めれモモウ淋ハ流々モ身々モウハシクハ役々モ
今ハ此ハ金々取アんと申カレ使者モウモウモウモ
恨儀有メぬ人々有メの流儀モ志レぬ人々モウモウ
モウモウモウモウモウハ諸役人定ノカモウモウ
役人ノ流儀モ流儀モ流儀モ流儀モ流儀モ流儀モ
淋ハシクハ役々モウモウモウモウモウモウモウモウ

○申年十月廿四日勘定奉行占書上字